

平成28年度公共事業再評価

県土整備部道路課

平成28年度公共事業再評価諮問地区一覧表

No.	事業名	事業箇所 (地区名)	事業 年度	進捗率 平成22年度 平成27年度	対応 方針
1	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	国道498号 (若木バイパス)	H19~H29	- 72%	継続
2	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	多良岳公園線 (多良)	H19~H30	- 87%	継続
3	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	武雄福富線 (福富)	H26~H32	- 12%	継続
4	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	東与賀佐賀線 (本庄)	H23~H34	- 18%	継続

道路事業のB/Cの考え方

費用対効果 B/C

○総便益(B): 道路整備によりもたらされる総便益額

(内訳)

・走行時間短縮便益

= 車両1台当たりの時間価値 × 短縮時間 × 交通量

・走行経費減少便益

= 道路整備による走行経費の減少 × 走行距離 × 交通量

・交通事故減少便益

= 道路整備による人身事故件数の減少 × 人身事故一件当たり平均損失額
(人的損失額、物的損失額、渋滞損失額)

○総費用(C): 道路整備及び維持管理に要する総費用

(内訳)

・事業費

・維持管理費

○費用便益比: 総便益(B) / 総費用(C)

※便益と維持管理費は、供用開始後50年間で算定